

人権理事会 拷問に関する専門家が発言

2024/03/08

国連人権高等弁務官事務所

拷問に関する特別報告者が人権理事会で発言した。内容は以下のとおり。非常に多くの人々が長期間、過密な施設に収監されている。貧困と収監との関連は明確である。ほぼ全ての国で何らかの形で刑務所は大きな課題に直面している。刑務所は多くの要望、不十分な資金・人員で圧迫され、しばしば危険で非人道的な状況にある。女性・若者・先住民等々の受刑者特有の様々なニーズがあり、神経的多様性のある受刑者の収容は複雑であり、女性の受刑者には更年期の健康ニーズもある。刑務所は社会復帰のチャンスを与える場であるべきである。世界中の国々で刑務所と受刑者が軽視されていることが貧困を悪化させ、再犯の可能性を高め、公共の安全を脅かしている。各国政府に対し、刑事・社会正義の政策と優先課題を再考するよう求める。自由を剥奪された人々の保護に関して国際的に合意された基準が存在するが、基準とその実施には大きな乖離がある。